

資料47-3-4

科学技術・学術審議会

研究計画・評価分科会

宇宙開発利用部会

(第47回) 2019. 4. 18

最近の宇宙に関する動向について

2019年4月18日

研究開発局

宇宙開発利用課



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,

SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

最近(2019年以降)の宇宙に関する動向

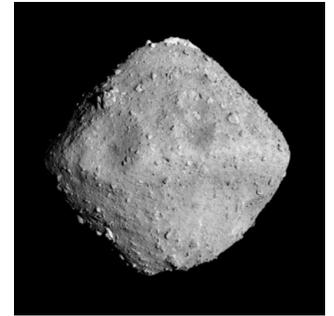
イプシロンロケット4号機の打上げ成功

2019年1月、イプシロンロケット4号機により、革新的衛星技術実証1号(JAXA衛星で初めてベンチャー企業のアクセルスペースが製造受注)の打上げに成功。大学や企業などが開発した機器や部品、超小型衛星を打ち上げ、宇宙実証の機会を提供。



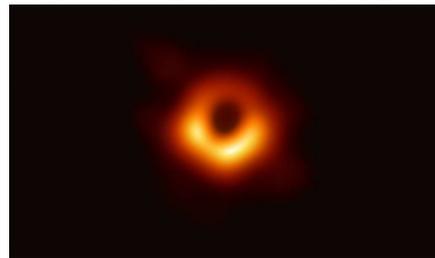
小惑星探査機「はやぶさ2」がリュウグウへの着陸等に成功

2019年2月、小惑星探査機「はやぶさ2」(2018年6月に小惑星リュウグウに到着)が、リュウグウへのタッチダウン(着陸)に成功。さらに、同年4月には、リュウグウ表面に人工クレーターを形成するための衝突装置の実験にも成功。今後、クレーター形成状況を調査し、5月以降に内部サンプルを採取予定。



世界で初めてブラックホールの撮影に成功

2019年4月10日、日米欧州などの国際共同研究グループが、国際共同で運用する「アルマ望遠鏡」を含め、世界6か所8つの電波望遠鏡が連動した観測を実施し、史上初めてその存在を直接的に捉えたと発表。約200名の研究者のうち、日本からも22名の研究者が参画し、本成果に貢献。



「つばめ」(SLATS)の軌道保持運用開始

2019年4月2日、超低高度衛星技術試験機「つばめ」(SLATS)の軌道高度保持運用を開始。イオンエンジンを用いて一定期間、軌道を保持しつつ段階的に高度を低下。最終軌道高度では、ガスジェットエンジンを併用し、軌道高度を保持。(約180km)

